

## 事業所における自己評価結果(放デイ公表)

公表:令和 4年 2月 24日

事業所名 キッズキングダム

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	6	2		集団活動を行う際に少し手狭に感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	3	建物が古い為バリアフリーではない。その為、身体的な補助を必要とする児童には配慮がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			保護者の方の意向をしっかりと評価や意見によって汲み取り、保護者に改善がわかってもらえるように努めています。
	⑥	自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		1	集計を行い結果を保護者へ配布。ホームページにも掲載。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		4	外部評価が行えていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			アセスメント表は保護者さんにとっても大きなご負担とは思いますがご協力をして頂きしっかりと役立たせて頂いています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			保護者に対しアセスメントシートを記入して頂いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			各担当者をその月ごとに変化させながら、毎回目的を持たせ立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			全スタッフが立案に携わることで、固定化せず幅広いプログラムを実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			ある程度1人1人の目標は平日と長期休暇は持たせ支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			どうしてもその日集団活動への参加が難しい児童に関しては個別で対応を行います。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			毎日朝礼でその日の連絡事項や活動の確認等を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		支援終了後に事務所にて気になった点などの振り返りを話すことはあるが全スタッフが参加しているのか疑問に思う事もある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			ほぼその日のうちに支援記録を書き支援の改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			
関係機 関や保 護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			保護者を通して情報共有を行う場合もある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		保護者を通して情報共有を行ったり必要に応じて直接主治医と連絡を取る。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか	8			
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	今まで該当する児童がいなかったが、今後必要ならば連携をとり情報交換を行いたい。	

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	3	1	4	長期休暇の際のみ
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	4	1	地域で行われているペアレント・トレーニングを保護者にご案内することはある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8	父母会の活動は今のところなく、保護者会も開催していない。今後必要性も含め検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	5	コロナにより行事開催ができていない。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		家族を通して指示に基づき対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。